



菊川市議会だより

議会のひろば

2023.11.16 No. 76

今月の
特集

私たちが守る！横地城跡

横地地区

横地城跡運営協議会の皆様に聴きました

特集……………P01

9月定例会概要……………P03

一般質問……………P07

議会活動レポート……………P13

みんなの声 他……………P14

きかせてママの声 他……………P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

私たちが守る！横地城跡

横地地区

横地城跡運営協議会の皆様に聴きました

〈活動を始められたきっかけと、活動開始の時期、経緯は？〉

・県自然公園整備、史跡保護の為に昭和47年から活動を開始しました。当初は、横地地区全体から協議会に参加して頂いておりましたが、現在は川島、段横地、奥横地の3自治会のメンバーが中心となって活動しています。

〈活動内容は？〉

・活動の頻度は、月に1〜2回程度で、週末に実施しています。作業時間は、季節によって変わりますが、3〜8時間かけて作業をしています。現在、運営協議会の総会員数は56名で、平均で25名程度が作業に参加してくれております。メンバーの平均年齢は、約73歳です。

〈保全活動以外の活動は？〉

・横地城桜まつりの主催や、小学生を対象としたシイタケの原木づくりの指導等を行っています。横地地区センターまつりでは、シイタケの原木販売等を含むイベント運営の協力も行っています。

〈活動メンバーの勧誘は？〉

・自治会役員経験者や、定年を迎える方に対して勧誘を行っています。新しい仲間を迎えるのは難しい状況にあります。新会員の勧誘もこれからの課題と考えております。

〈やりがいを感じる時は？〉

・菊川市の観光の要である横地城跡を管理しているという誇りを持って対応しており、運営委員会の会員全員の郷土愛により暑い日も寒い日も作業を行っております。作業を終えてきれいになった現場を見た時にはなんとも言えない充実感があります。また、横地城跡に遊びに来た子供達に感謝の言葉を頂くことがあります。こんな時には「やっていて良かったな」と皆が感じています。



運営協議会役員の皆様（右端が鈴木勝章会長）



アイゼン他
安全装備

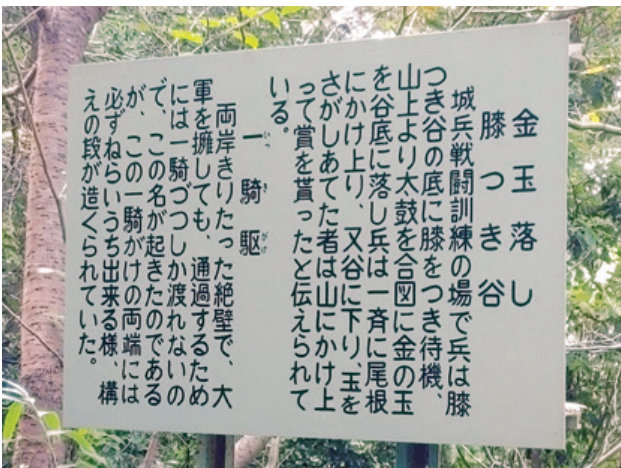


市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は、県立自然公園横地城跡内の除草、剪定等の保全活動をされている横地城跡運営協議会の皆様に活動のご苦労等を伺いました。

〈大変だと感じることは？〉

・年間の作業計画を立てるのですが、作業範囲が広いのでバランス良く全体に手を入れるように計画するのに苦労します。また、荒天時には作業を中止しなければなりませんので、年間の作業日数を確保するためには予備日の設定も必要となります。

・夏の暑い時期の作業はなるべく日陰になるエリアを選定して会員が熱中症等にならないよう気をつけています。作業場所は平坦な所だけではなく急な斜面もありますので、特に、安全面には全員が注意を払っています。安全装備に頼りすぎても気の緩みが出てしまうため、危険な箇所の作業は気を引



当時は山岳戦の訓練の場だったそうですが、今は横地城跡桜まつりで、子ども向けに、この訓練を模したイベントが行われています。

き締めて作業をするように会員の皆さんには伝えていきます。お陰様で今までに作業中の大きな事故は発生しておりません。

〈課題と要望は？〉

・県立自然公園のエリアの遊歩道の整備が行き届いていない所がありますので、しっかりと維持管理をして頂きたいと思っています。

〈最後に〉

・私が横地城跡運営協議会の会長になってから15年が経過しましたが、こうして多くの会員の皆さんに協力を頂いていることには感謝しかありません。これは、会員の皆さんの郷土愛の強さからであると感じております。また、毎月の活動を通して会員間のコミュニケーションを図る事が出来るのも皆さんの参加の理由の一つとなっていると思います。最近では徐々に戻りつつありますが、新型コロナウイルスの影響でコミュニケーションの場が少なくなっています。市内では我々の様な活動をされている方々がお見えですが、地域でのコミュニケーションを図るためにも、このような事業の輪を広げて行ってくださるようお願いいたします。



取材へのご協力をありがとうございました。
これからも素晴らしい横地城跡をお守りください。

概要

9月定例会

審議結果

会期 29日間 令和5年9月1日～9月29日



議案
1件



議案
16件



報告
3件

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	渥美嘉樹	東和子	坪井仲治	織部ひとみ	渡辺修	須藤有紀	西下敦基	鈴木直博	小林博文	赤堀博	横山陽仁	織部光男	倉部光世	松本正幸	内田隆	横山隆一	山下修
議案第71号	令和4年度菊川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	×	—
議案第78号	令和4年度菊川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第85号	令和5年度菊川市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	—

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（山下 修）は採決に加わらない。
すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。

令和4年度決算

お金の使い方をチェック

令和4年度において、税金がどのように使われ、どのような成果や実績があったのかを確認し、課題や問題点などについて議論しました。

会計名	歳入決算額【収益額】 (前年度との比較)	歳出決算額【費用額】 (前年度との比較)
一般会計	約217億1,756万円 (約3億823万円減)	約209億9,227万円 (約3億5,662万円減)
国民健康保険特別会計	約43億8,665万円 (約1億5,824万円減)	約43億5,242万円 (約1億7,431万円減)
後期高齢者医療特別会計	約5億3,161万円 (約4,344万円増)	約5億2,821万円 (約4,273万円増)
介護保険特別会計	約37億4,133万円 (約2,255万円増)	約36億4,805万円 (約1,845万円減)
土地取得特別会計	769円 (同額)	769円 (同額)
病院事業会計	約66億6,594万円 (約1億6,817万円増)	約66億4,943万円 (約2億9,403万円増)
水道事業会計	約16億552万円 (約1億3,011万円増)	約17億4,357万円 (約3,283万円増)
下水道事業会計	約10億4,258万円 (約1億2,826万円増)	約11億7,347万円 (約1億3,828万円増)

※土地取得特別会計以外は、1万円未満を切り捨てています。

※下水道事業会計・病院事業会計・水道事業会計については、収益的収支および資本的収支の合算であり、赤字分は内部留保資金などで補っています。

審査でこんな質問がされ、自由討議でこんな意見が出ました。

Ⓐ 大雨や短時間豪雨の頻発化により、高齢者世帯等への新たな避難情報の必要性をどう考えているか。また、現在の茶こちゃんメールの登録件数は。

Ⓐ 現在、避難情報の発信は同報無線、ホームページ、茶こちゃんメール、SNS、dボタンで実施している。スマートフォンや携帯電話は高齢者の所持率も高くなってきており、茶こちゃんメールの登録者数を伸ばすことが特に有効であると考えている。イベントや出前行政講座でチラシを配布して、登録者数の増加に努めている。また、避難所の開設のタイミングを早めることによって早期に避難場所を確保することも重要と考えている。今後、避難行動要支援者の個別避難計画を作成することにより、個々の状況に合った避難誘導につなげて

いきたい。さらに、ハザードマップを用いたマイタイムラインの作成についても、高齢者やひとり暮らし世帯に関わりの深い民生委員や児童委員にも協力していただき進めている。茶こちゃんメールの登録者数は、令和4年度末で7,374人である。

要支援者の個別避難計画を立てることは、非常に重要であるため、確実に事業が完成するように進めてほしい。

災害時の情報収集手段としてスマートフォンを使い方を高齢者に対してレクチャーする機会を増やしてほしい。



Ⓐ 消防団活性化検討委員会において、どのような検討が進められているのか。

Ⓐ 消防団活性化検討委員会では、喫緊の課題となっている消防団の成り手不足を解消するため、消防団員の確保につながる活動環境整備及び処遇改善を重点的に検討している。令和4年度では計3回の検討委員会を開催し、消防団員の準中型免許取得、団員の報酬見直し、消防団員の勧誘活動、消防団員の処遇改善、広報活動の充実、コロナ禍が明け、お祭りなどの地域コミュニティ活動が再開したときにおける勧誘活動の実施などを支えるように提言をいただいている。また、検討委員会の委員である連合自治会の役員からは、消防団員不足は自治会活動における課題であると認識していただいており、連合自治会から全ての単位自治会に対し、地域防災の



担い手として重要である消防団員の確保を励行するよう、通知を出すなどの協力をいただいている。

消防団員の確保については、現在、消防団員が自治会長会議等に説明に来てお願いをしてきている。今年からお祭りなどの機会でも呼びかけをするということだが、少子化で対象者が少なくなってきた中、さらに消防団員の処遇改善を図る必要がある。

◎ 敬老会の開催方法を変更して初めての開催であったが、開催方法や内容についての課題・改善点は。

▲ 敬老会の開催方法については、対象者数の急激な増加による会場の確保や自治会役員への負担の問題、近年の酷暑による高齢者の体調面の心配などから、平成30年度から2年間にわたり連合自治会と検討を行い、会場を1か所に集約し、対象者もお祝いの節目の年の方に変更し、連合自治会の協力を得ながら市が主催し実施するように変更した。

令和3年度はコロナ禍で中止となり、令和4年度には感染症対策を行い、初めて新しい方法により開催した。しかし、コロナを心配しての欠席者もあり、出席者数が通常より少なくなったため、敬老会本来の規模感は、本年度が初めての経験となる。そのため、出席者数に対する対応は、本年

度からの課題になると考えている。また、課題として、対象者からの出欠確認時に、住所不定での返信や回答がない方の確認方法がある。本年度、回答のない方には、自治会の協力を得て確認を進めているが、自治会役員の負担も考慮した検討が必要である。

敬老会に関して、90歳の次が99歳では、参加できる方は少なくなる。また来年敬老会に行つて頑張ろうという気持ちを持つてもらふことも必要ではないか。



令和5年度敬老会

◎ 分別収集等奨励費、事業課題に「大型スーパーやホームセンターなどの古紙やプラスチックトレーなどの資源物回収が進められ、更にコロナで集団回収が減少したことで市のリサイクル率の低下に繋がる」とあるが、スーパー等でリサイクルされるなら問題がないのではないか。市のリサイクル率の算定方法と推移はどうなっているか。

▲ 今回のリサイクル率の低下は、リサイクル量が減っているのではなく、行政の回収ではない、主に民間で回収されていることによるものであり、悪い意味での低下ではない。リサイクル率の算定方法は、ごみの総回収量に対して、リサイクル品の回収量になり、市が把握できている数字に限る。スーパー等での店頭回収量は含まれていないため、リサイクル率は低下傾向になっている。

ごみ全体をどう減らすのが最終目標である。菊川市内のごみをどう減らし、それをどこまで分別してリサイクルするのかというしっかりとした目標を持ち、ひとつずつ積み上げていくべきだ。

リサイクルは非常に重要だと感じるが、一方であまりにも細かく分別が増えてしまうと、捨てる人の負担が増えてしまうのではないか。あるいは、不法投棄の増加につながる可能性もあり、捨てる人の負担という視点も非常に重要ではないか。

クリーニング店でのハンガーの回収のように、同じものを何回も繰り返し使うリユースということも進めていくべきではないか。

審査
ピックアップ
議案
第79号

菊川市一般会計補正予算（第3号）

令和5年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

審査でこんな質問がされ、自由討議でこんな意見が出ました。

❶ 旧町部地区センター跡地を駐車場とするための整備に係る設計業務委託の内容と、駐車場整備プランをどのように考えているのか。

❷ 駐車場については2段階での整備を予定している。第1段階では、旧町部地区センター解体後、本庁舎の外壁改修工事、堀之内体育館災害対策本部棟新築工事時の駐車場として、解体後の現況を利用した仮の駐車場整備を行う。第2段階では、旧町部地区セ

ンター取壊し後の状況を確認し、今回の測量業務の成果により最終的な駐車場整備を進めていく。整備時期は、堀之内体育館及び災害対策本部棟新築工事終了後に実施する予定である。駐車場整備のための測量業務については、旧町部地区センターの敷地測量、現況を調べるもので、外壁改修工事、堀之内体育館災害対策本部棟新築工事時に使用する仮駐車場のレイアウトを決めるために必要なものである。この敷地測量は、最終的な駐車場整備にも使用するものとなる。

体育館を建て直す際には冷房も完備するということと、とても使い勝手がよくなると思う。多くの方が利用するということはとてもいいことだが、ますます駐車場の使い勝手が悪くなるのではないかと思う。現在の駐車場の内容とともに、将来を見据えた駐車場の数が必要だと思っている。



❸ 戸籍住民基本台帳総務費、コンビニ取扱量は倍になったが、その成果は。窓口利用件数が減った場合、窓口の委託人数が変わることはあるのか。

❹ 証明書等のコンビニ交付への移行が進んだ成果は、本庁市民課における昨年と今年

の4月から8月までの住民票、印鑑証明、所得課税証明の窓口取扱件数の合計数を比較すると、1ヶ月平均で2,012件から1,242件と770件減少し、窓口の混雑が緩和された。それにより、カウンター外側での来庁者への案内をより丁寧に行うことができ、必要な手続きへの誘導がスムーズに行えることから、市民サービスの向上につながった。委託人数は、マイナンバーカードの交付等の証明書交付以外の業務についても窓口で対応し係員につないでいるため、コンビニ交付により利用が減ったから単純に減員するという結論には至らないのが現状である。

コンビニ交付導入の際、人件費の減少も導入成果としてあったと思う。一度コンビニ交付の影響での人件費を含めた事業の検証を行う必要がある。

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

(令和5年9月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：10名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。



一般 ウェルビーイングの高いまちへ

西下 敦基 (市民ネット)



最近、ウェルビーイングという言葉が注目されている。もとは身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指す言葉だが、健康、幸せ、福祉などを包括する概念として用いられている。幸せについて話し合い、独自のものを考え、共有し、一人ひとりが幸せを実感できるよう協力してのまわづくりが必要である。

市民の幸福の定義や概念をどのようにとらえているのか。

本市で明確に定めたものはないが、市民の声を聞いて策定した第2次総合計画の中で触れている「市民一人ひとりが生き生きと安定的に暮らせる状態である」と考えている。

デジタル庁などが整備を進めるウェルビーイング指標のシステムを利用して、幸福度の把握や分析などの取組ができないか。

第3次総合計画の策定において、デジタル庁などが提供するアンケート調査の設問などを、本年

度実施する基礎調査の参考にするほか、指標の測定ツールで算出された結果を来年度に実施する市民ワークショップでの議論の材料にするなど、活用できるものを取り入れていく。

幸せやウェルビーイングについての教育の取り扱いは。

幸福感や自己肯定感、他者とのつながりなどの主観的なウェルビーイングの状況を把握し、学校教育活動全体を通じて、児童生徒一人ひとりが持つ長所や強みに着目し、可能性を引き出し発揮させていくという視点を持ち、ウェルビーイングの実現を図っていく必要がある。



一般 女性の視点を加え多様な防災対策

倉部 光世（市民ネット）



多様な人々への配慮のためにも女性の視点も加えて災害対応を見直すことが求められている。

Q 女性に向けた講演会等行われているが防災に興味を持つ女性は増えているか、アンケート結果は。

A 避難所運営委員会の女性は徐々に増えているが、家事・育児・介護が忙しい、防災活動は男性が主というイメージが強いという回答が最も多く、内容、開催日時や会場設備を工夫していく。

Q 女性職員が危機管理課に配属され見直された点は。

A 同報無線、災害対策本部内の災害事案の読み上げは男女の区別なく対応するとした。

Q 女性の防災参画を推進するため、まずは庁内に「防災女子の会」を発足する必要性は。

A 女性職員を中心に活動するチームを検討している。女性の防災活動への参加や参画を全庁的な課題として捉え今までは違った

視点で女性職員も知恵を出し合っていく。

Q 県が進めているわたしの避難計画「わたひな」の取組は。

A 今後、出前講座等の機会を捉えて「マイ・タイムライン」と「わたしの避難計画」の特徴や活用方法を分かりやすく説明し、早期避難意識の醸成を図っていく。

他に「GIGAスクール構想のこれから」と「行政と市民をつなぐ広報戦略」について質問しました。



一般 学校教育における子どもの心のサポート

織部 ひとみ（みどり21）



子どもや若者の自殺が、夏季休暇明け前後に増加する傾向にあります。厚生労働省の統計によると、2022年の全国の小中高校生の自殺者数は514人で過去最多となり、未来の宝である子ども達が1年の間に、平均して毎日1人以上が命を落としていく現状は、あってはならないことだと考えます。市では、心の教室相談が設置され、子どもの心の現状とサポートへの取組について伺います。

Q 心の教室の年間の相談状況と件数は。

A 心の教室相談員は、市内の3中学校に1名ずつ配置。家庭内の心配事、友人関係、進路についての悩み等、令和4年度の1年間で31件の相談があった。

Q 心の状態はどのような頻度で調査されているか。

A 定期的に生活アンケートを学校ごとに、年間3回から5回実施している。

Q 子ども達への心のケアの取組は。

A 健康観察アプリリーバーによる保護者からの出席連絡、健康観察、保健室への来室記録など、生活のあらゆる場面の精神的な支援。

Q ゲートキーパー研修の実施状況は。

A 実施はしていない。子供達へ寄り添い、声をかけ、話を聞き、必要に応じて関係機関に繋げる。

Q 自殺リスクや精神不調を早期に見発することができ、タブレット端末で特別なソフトを使い、子どもの自殺リスクを見つける取組は。

A 1人1台端末を活用し、相談フォームの開設や健康観察、教育相談の取組について研究。



一般 有機フッ素化合物PFASについて

渡辺 修（みどり21）



永遠の化学物質。非常に強固で分解されにくい有機フッ素化合物の総称でPFASは広範な総称となります。また、環境中に放出されると分解が著しく難しく、地下水や水源、土壌、食品などに広がるのが懸念されています。生物蓄積性を持ち、生態系や健康に悪影響を及ぼす可能性があると考えられています。

ますか。

A PFASを製造過程で使用する可能性があった業種につきましては、有機フッ素化合物の製造・使用の実績がある施設などがPFASの排出源となり得る施設と言われていますが、具体的には把握しておりません。

Q ぜひとも周知を行ってほしいです。菊川は大丈夫ですよという。

A 引き続き県や国からの情報等に注視するのが基本の考えで、市民に正しい情報を正しいタイミングでお知らせすることが必要だと思っております。

Q 県内で菊川市のみが要監視物質の調査点に指定された事実は重大であり、過去に菊川市においてPFASを使用した可能性があった業種と当時の状況を把握してい



一般 不登校児童生徒の支援

須藤 有紀（みどり21）



Q 不登校の要因分析及び不登校が長期化する子どもの傾向と対策は。

A 不安の傾向が見られる児童生徒の割合が多い。児童生徒自身が抱える不安に寄り添う相談支援や居場所への支援を継続しつつ、家庭支援へのアプローチが必要である。関係機関との連携により、ケース会議の実施や相談支援、家庭訪問などの個別の対応をしている。

Q 一斉休校や黙食等、コロナウイルス対策による不登校増加の影響について、現状と考えは。

A R2年度の新規不登校児童生徒数は18人、R3年度は50人と、大きく増加した。十分なコミュニケーションが取れず、人間関係の構築が不十分となったこと、学びが断続的になったりICT機器などによる間接的なものになったりしたことなどが考えられる。

Q 学校に相談することに抵抗を感じる保護者、子どもの声を基に、

民間施設の情報提供が推奨されているが現状は。

A まずは適応指導教室を紹介するが、それ以外に連携を図っている民間6施設と静岡県総合教育センターあすなろを紹介している。

Q 不登校の子ども達に対して、市の方針や考えは。

A 登校という結果のみを目標としないという考え。いくつになっても勉強する機会は必ずある。つらい思いしているときは本当につらくなってしまうが、将来必ずチャンスがある。



一般 菊川茶の存続をかけて

横山 隆一（日本共産党）



本年、8月農林水産省が、本年の一番茶生産量統計を発表した。本県の荒茶生産量は9,060tで大幅な減産に転じ全国一位を維持したものの摘採面積の縮小は止まっていない。まさに「危機脱出には待ったなし!!」であり市長の決断を求める。

◎ 菊川茶業の存続には、茶の品質の確保と中心茶農家の絞込みとグループ化が必要だが。

△ 茶商や各生産者の取引先からの需要があるお茶を供給できる生産体制にすることが必要と考えている。

◎ 儲かる茶業となるためには、安定した茶価が重要となる。茶業振興センターの奮起が強く望まれる。一方、増収増益につなげている茶商もある。儲かる農業につなぐ協議は。

△ 本年度、有機栽培や輸出に向けた協議会の立ち上げを進めている。

“茶葉”で飲む!



◎ 掛川市「茶業版フェアトレード制度」を参考に、茶商の求める生産委託を充実させるなどの「菊川版フェアトレード制度」を考える必要があると思うが。

△ 掛川市の取組は試験導入とのことで、今後も情報収集をしていく。また、取引数量や価格を見える化できる契約栽培も選択肢の一つと考えている。

◎ 関連団体との情報交換会では、「エキスパート職員」の配置を求める声がある。市民からみた「信頼のおける職員」を育成していくための考えをお聞かす。

△ 菊川市人材育成基本方針に沿った職の能力開発・適正な人事によりレベルアップを図っていく。

一般 風水害における減災

坪井 仲治（みどり21）



減災とは、災害時において発生し得る災害の被害を最小化するための取組である。菊川市における減災に対する施策、考え方等について質問した。

◎ 避難行動要支援者等の避難支援体制の訓練・検討会の実績と今後の計画は。

△ 福祉避難所の開設訓練及び検討会を実施しており、今後の計画については、訓練による課題を整理し、菊川市福祉避難所開設・運営マニュアルを見直し、実効性を高めていく。重度身体障がい者に対する防災対策検討会の実績と今後の計画については、東遠地域自立支援協議会の重度心身障がい者に関する専門部会にて取り上げ、本年度は県内事例の研究・視察を行った。今後は、協議会において福祉避難所のあり方や避難支援について、見直し・検討を行う予定となっている。避難行動要支援者登録をされた方で、出水時に避難誘導が必要な地域にお住まいの方の確実な避難誘導を実施するため

の施策は、浸水想定区域に住む高齢者等について、個々の状況に合った避難誘導が重要となるため、本年度からケアマネジャーの協力を得て、個別避難計画の策定を進めている。

◎ 発災後の復旧工事の設計業務等について静岡県建築士事務所協会と協定を締結した目的は。

△ 公共施設が被災した際、直後の混乱時の時間的な制約がある中、協定を締結したことにより、協会を通じて対応が可能な設計事務所へ早期に業務を依頼することが可能となり、速やかな応急措置や補強、復旧工事に着手することが期待できる。



一般 歴史文化遺産の保護と継承の取り組みについて

横山 陽仁（至誠の絆）



歴史文化遺産の保護と継承の取組について一般質問を行った。

Q 昨年に行った秋葉灯籠の調査は。

A 秋葉信仰と街道がしずおか遺産に認定されたため、灯籠を調査し、パンフレットにまとめた。

Q 文化財活用地域計画について

A 他市の動向や策定に向けての課題など、情報収集している。

Q 10年計画をやめ、3年計画ごとに直直しをする等、時代に沿った計画に直したらどうか。

A 5年後、中間評価を行うこととしており、見直しの機会を設けている。

Q 文化的価値のあるものの記録散逸防止は。

A 顕彰会や保存会の方々との連携を図りリスト化するところから始めたい。



應聲教院の山門

Q 資料の貯蔵庫の整備について

A 今、古文書は図書館の一室、埋蔵文化財はどきどきや代官屋敷資料館などで保管しているが、スペースは不足した状態である。市としても必要性は認識している。

Q 展示場について

A 現在はある施設を活用して、情報発信を強化していく。

一般 公立北こども園の役割と使命を問う

織部 光男（無所属）



菊川市の令和5年度保育園、幼稚園、こども園の入園者数は、前年度より95名の減少です。公立は北幼稚園だけになります。その為、役割に期待が寄せられているのです。

Q 医療的ケア児全児童を公立で受け入れますか。

A 対象児童の全てを受け入れるのではなく、民間幼保施設では対応が難しい児童について、公立園で受け入れるよう取り組んでいくものであります。

Q 北こども園の定員は何名にするのですか。

A 定員数は92名であり、内訳は1号認定53名、2号認定27名、3号認定12名であります。

Q 話し合いを多く持ち、支援体制を整えるところがあるが、なにをやるのですか。

A 公立園の保育士が各園を訪問し、それぞれの園で抱えている課題や実情を把握するとともに、課

題の解決に向け、各園の保育士とともに対応を検討していく体制を整えてまいります。

Q 質の高い教育・研修のソース（情報源、発信源）は何ですか。

A 公開保育を行い、保育士の実践の場を見ていただき、現場での対応について議論することで、質を高めてまいります。

Q おおぞら認定こども園が民営化したら、今いる障害、医療的ケアの方はどうなりますか。

A 北こども園で、実施している特別保育という部分、そこを引き継ぐようなことを考えております。



一般 こども支援ネットワークの実現を

渥美 嘉樹（至誠の絆）



今回は、菊川で令和6年に設置される「こども家庭センター」を中心に「子育て世帯にとって必要なサポートなどを一元的につなげる支援ネットワークを構築すべき」「子どもの多様な居場所を構築すべき」という立場で質問をいたします。

❶ こども家庭センターにおいて、支援ネットワークをどのように構築するか。

❶ センターを中心として、新たな相談窓口体制、サポートプランを活用した支援機関同士の連携強化、支援機関が持つ支援策の充実を図り、より効果的な支援ネットワークの構築に努める。

❷ こども家庭センターは、民間団体と連携し、多様な家庭環境に関する支援体制の充実強化を図るための地域支援開拓を新たに担うこととされている。資源開拓の方針を伺う。

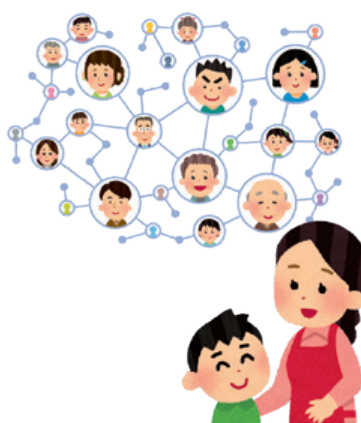
❶ 家庭の状況は多様化しており、ニーズも多岐にわたっている。今

後は、新たな事業として、訪問による家事支援等、民間団体を活用した支援事業にも取り組んでいく。

❷ 改正児童福祉法において、学校や家以外の子ども居場所支援として児童育成支援拠点事業が新設される。この事業の実施方針を伺う。

❶ 子どもの視点に立った居場所をさらに開拓していくため、まずは、居場所を提供することとなる団体、関係機関との協議から進めていく。

他に「病児保育の実現を」、「こどもの遊び場の実現を」について質問しました。



議会豆知識

「専決処分」

本来、議会で十分話し合ってから意思決定しなければならぬ案件（事件ともいいます）が発生した際、例外的に議会に代わって市長が意思決定することです。

専決処分を行う場合には、2種類あります。

1つ目は、**時間的に議会の招集を待てない場合**です。

議会の招集とは、全議員に一定の日時・場所へ集合することを要求することです。議会の招集から、議決（議員が話し合い意思決定すること）までには時間がかかります。

大雨や台風による災害復旧のための応急措置や、国の交付金措置を急がなければいけない場合など、議会の招集、議決を待てない緊急の場合、専決処分が行われます。



この理由で専決処分をした場合、議会への報告と、議会の承認の両方が必要です。

2つ目は、**あらかじめ指定（委任）している専決処分**です。

この場合、議会への報告は必要ですが、あらかじめ指定している内容なので承認は必要ありません。

菊川市では、1億5000万円を超える工事は議会の承認が必要ですが、その契約金額が変更になる場合、100分の5に相当する金額（1000万円を超える場合は1000万円以内）の範囲内において締結すること、市営住宅の管理運営に関することなどが、市長専決処分事項に盛り込まれています。

この内容は、「地方自治法第180条第1項の規定に基づき市長の専決処分事項の指定について」で定められています。

議会活動レポート

こども議会を開催しました

令和5年菊川市こども議会を7月27日～8月18日の間に全5日間、開催しました。市内の小学5年生4名、6年生6名、中学1年生1名の計11名に、こども議員としてご参加いただきました。



議員による市議会の説明

初日には、議員から菊川市や菊川市議会について、クイズなどを交えて学び、それぞれが感じる身近な問題や菊川市の将来について発表するテーマを決めました。

2～4日目では、それぞれが決めたテーマに基づいて、議員と一緒に市役所内での情報収集や、提言書の作成、発表の練習などを行いました。



市役所内で情報収集や提言書の作成をする様子



5日目となる8月18日には、提言書発表を議場で行いました。こども議員は、これまでの調査や勉強の成果を踏まえ、それぞれの想いを堂々と発表しました。また、4名のこども議員は、こども議長として議長席に座り、会議の司会・進行も行いました。



発表を終えたこども議員からは「菊川市のことについて深く調べて、もっと菊川市のことを知れた」や「議員さんがやさしくアドバイスをしてくれてよかった」などの意見がありました。



当日の発表は上記QRコードから

[映像配信ページへ](#)



こども議員、傍聴者へのアンケート調査は上記QRコードから

[ホームページへ](#)

市長へ提出

令和5年11月6日



農業の現状とこれからについて

政策討論会

政策討論会では、「農業の現状とこれからについて」をテーマに、3班の分科会に分かれ、調査・研究・討論を行いました。その結果をまとめ、菊川市の農業の課題や解決案について、市議会より提言をしました。



令和6年度当初予算編成に対する提言書

予算決算特別委員会

予算決算特別委員会では、9月定例会で行った令和4年度決算審査の内容を踏まえ、令和6年度当初予算編成の際に配慮すべきことについて、総合計画の5つの柱ごとにまとめた総体的な意見や委託料・補助金の在り方、各事業の丁寧な把握と精査を行うこと等を市議会より提言しました。

みんなの声

こども議会傍聴者より

普段と環境の違う議場での発言ということもあり、各こども議員とも緊張感が伝わってきたが、皆さん落ち着いた提言・答弁が出来ていました。菊川市の住民として菊川市を少しでも良くしたいという気持ちが発表時のコメントに表れていました。

こども議会傍聴者より

どのこども議員の皆さんも思っていた以上にしっかりと自分の意見を述べ、また内容も当市のことを真剣に考えた提言を発表し、立派でした。これが、今後の菊川市のますますの発展に役立ってくれることを心より期待しております。若者が政治に無関心になっているといわれる昨今、このような企画をますます盛んにしていただきたいと願っております。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお寄せください。もれなく菊川市議会特製“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。

※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です



きかせてママの声

Vol.31

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

安心して子育てが出来て
たくさんのお友達がいる街にしてください。

白岩 真末 さん



12月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

11月	
29日(水)	議案の提案説明
12月	
5日(火)	一般質問
6日(水)	
8日(金)	質疑・討論・採決・委員会付託
22日(金)	委員長報告・質疑・討論・採決
25日(月)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、
事前に議会事務局 (35-0941) へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍 聴

本会議・委員会などを傍聴
できます。開催日に議会事
務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会
などに実情を訴え、適切な
措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、
結果などについて、説明会
の開催を要求できます。

編集後記

今回の議会だよりでは「横地城跡運営協議会」のお取り組
み特集いたしました。歴史的遺産を守り、次世代に伝える
役割は計り知れない価値があります。この協議会が果たす役
割の重要性を感じ、一緒に歴史を守り、地域を盛り上げてい
く姿勢に敬意を表します。読者の皆さまにも、横地城跡の魅
力とその背後の努力を感じていただければ幸いです。

(編集委員 渥美 嘉樹)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



次回の議会のひろばは
2月発行予定です。
(年4回発行)
お楽しみに！



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川市観光協会主催
第9回 菊川市
みどころフォトコンテスト
(2022年) 作品
「晩秋の彩り」
山崎俊泰さんの作品

撮影地：菊川市中内田

